



今井小だより

横浜市立今井小学校
令和 8年4月30日
学校だより 5月号

学校教育目標 : かがやいている子 「自分大好き!今井大好き!」

「大切にしてほしいこと」

校長 高嶋 聡

新年度のスタートから1か月が経ちました。先日の授業参観、懇談会へのご参加ありがとうございました。今後も保護者の皆様と共に力を合わせて子どもたちをしっかりと育てていきたいと思ひます。

初めて学校での生活を迎えた1年生も、進級した2年生から6年生も、新しい学年の生活に少しずつ慣れてきたころだと思ひます。緊張感がほぐれるこの時期は疲れも出やすい時期でもあります。学校でも子どもたちの様子や変化に丁寧に目を向けるようにしたいと思ひます。ご家庭では大型連休で楽しい時間を過ごすとともに、たまった疲れを癒すことにもご配慮いただければと思ひます。

この4月、新しい学校のリーダーである6年生が頑張っています。学校のために力を発揮しようという姿がたくさん見られます。1年生のお手伝いでは、優しく声をかけ、丁寧に寄り添いながら支えてくれています。その交流の姿はとても微笑ましく思ひます。たてわり班の顔合わせでも下級生を上手にリードしていました。学校での異学年の交流は、支えてもらう下級生だけでなく、上級生にとっても成長につながる貴重な経験であることを実感する日々です。これからも学校教育の中で様々な学年の異学年との交流を大切にしていきたいと思ひます。

始業式で、校長として初めて子どもたちの前で話をした時に、大切にしてほしい4つのことについて伝えました。「言葉」「思いやりと感謝」「頑張る」「違い」の4つです。

- ・言葉にしてきちんと相手に伝えること、丁寧な言葉遣い、挨拶や返事を大切にしよう。
 - ・相手の気持ちを考えることや周りの人に支えられている感謝の気持ちを大切にしよう。
 - ・困難なことから逃げずに挑戦することを大切にしよう。
 - ・人それぞれがもっている違ったよさに目を向けることや違いを認め合うことを大切にしよう。
- と伝えました。

学校は、授業を通して確かな学力を子どもたちに身に付けさせることが重要な役割ですが、その他にも、生きていく上で大切なことを学んでほしいと思ひています。一年を通して繰り返しの4つについては子どもたちに投げかけていこうと思ひています。

挨拶も大切にしてほしい「言葉」のひとつです。私はできるだけ毎日門に立ち、朝は子どもたちを迎え、帰りは見送るようにしています。その際とても元気良く「おはようございます」「さようなら」の挨拶をしてくれています。しっかりと私の目を見て丁寧に挨拶をしてくれる子が多く、嬉しく感じています。良い習慣がこれからも続き、さらに広がっていくことを願っています。

私が学級を担任していた時、4月の学級のスタートで必ず子どもたちに伝えていたのは、言葉の大切さです。学級の言語環境を整えることを最初に取り組みました。言葉はキャッチボールのようなものなので、自分がどのような言葉を相手に使うかによって、相手から返ってくる言葉も当然変わるといふことも伝えます。そして、絶対に使ってはいけない言葉については、学校でも家でも使わないという約束をしました。子どもたちの言語環境を整えることで、子ども同士の関係も自然と良好なものになっていくのをこれまでの経験の中で実感しています。

子どもたちの言語環境には、当然まわりにいる私たち大人の言葉も含まれます。子どもは、大人が使っている言葉は使って良いものと認識します。教師を含め、大人が使う言葉も子どもたちの成長に大きな影響を与えるものだと思ひます。

これから、暑さが次第に厳しくなってくると思ひます。登下校時や休み時間、運動の際には熱中症などにも気を付けて過ごしていけるように声をかけていきます。ご家庭での体調管理も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。